

承認番号	2020-068
研究課題名	免疫組織化学的バイオマーカーによる子宮間葉性腫瘍の予後予測法の確立に関する研究
研究の意義・目的	子宮平滑筋肉腫は頻度が低く多彩な形態を示すためしばしば困難を伴います。しかし治療方針の決定と予後予測は組織学的診断に負うところが大きいため、子宮筋腫と子宮平滑筋肉腫の鑑別における免疫組織学的バイオマーカーの有用性と信頼性(正診率)が検討されています。この研究は大規模な患者さんの集団による免疫組織学的バイオマーカーの有効性・信頼性の検証が目的となります。バイオマーカーによる子宮関陽性腫瘍の診断・予後予測法の確立は、子宮平滑筋肉腫の治療方針決定に大きく貢献します。
研究を行う期間	承認後～2025年5月7日
研究対象者の範囲	子宮平滑筋肉腫が疑われた患者さんで、2012年1月から2016年12月の5年間に開腹単純子宮全摘出術または開腹単純子宮全摘出術と両側付属器摘出術を受けられた方。
お願いする内容	共同研究機関に頂いた試料・情報を提供します。
	検体：摘出組織検体 カルテ情報：診断名，年齢，性別，身体所見，検査結果（血液検査，体幹CT検査，超音波検査，MRI検査，X線検査）
頂いた試料・情報の提供方法	特定の個人を識別できない形で提供します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	京都医療センター臨床研究センターがん医療研究室・研究室長 林 琢磨
この研究を行っている施設（共同研究機関）	国立病院機構共同臨床研究・平成31年度NHOネットワーク共同研究に参加している全23施設（代表機関：京都医療センター）
代表施設のURL	京都医療センター・ https://kyoto.hosp.go.jp/
研究の成果を公表する方法	この研究の結果は研究代表者を中心に参加施設の代表者で検討したのちに学会発表・論文作成を行います。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	国立病院機構 京都医療センター 臨床研究センター がん医療研究室 林 琢磨（研究室長） 住所：〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町 1-1 TEL：075-641-9161（代） 大阪市立大学大学院医学研究科 女性病態医学講座 市村 友季（講師） 住所：〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 TEL：06-6645-3862